

機械器具(3) 医療用消毒器

管理医療機器 一般的名称（オゾンガス消毒器）（JMDNコード:46087002）

オゾン室内消毒装置 MAC-1000

【警告】

●使用方法

1. 医療施設従事者のみが使用すること
2. MAC-1000を使用前に、MAC-1000の取扱説明書、添付文書を熟読すること。
3. 本品の消毒を唯一の消毒手段とせず、必ず日常的な清掃・消毒と併用して使用すること。

●適用対象

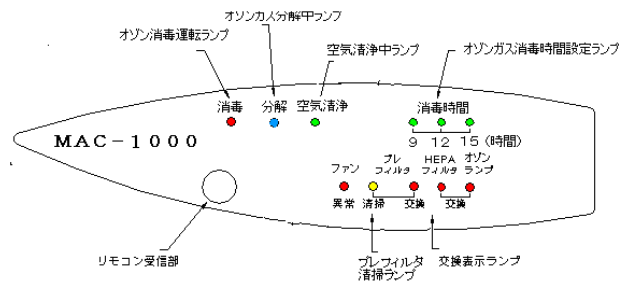
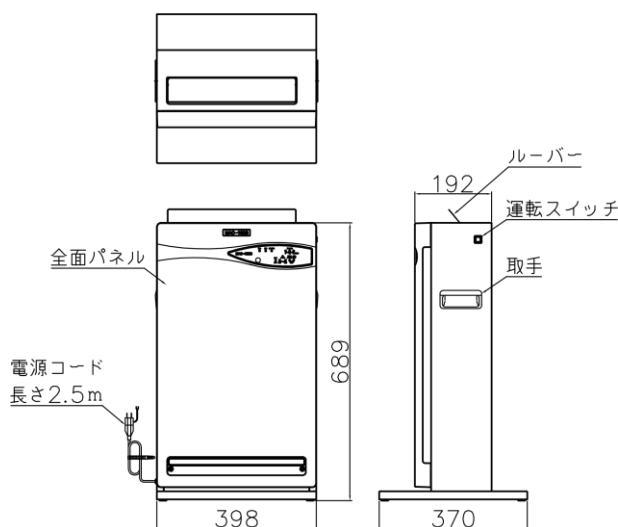
- ※ 1. 本品は微生物を不活化する消毒器としてオゾンガスを使用して医療施設等を消毒するものであり、それ以外の環境における微生物は対象外である。

【禁忌・禁止】

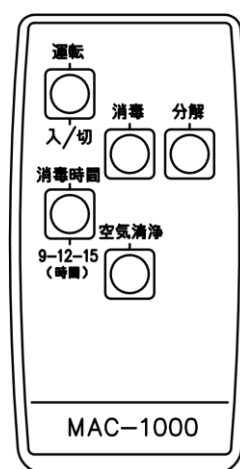
1. 無人の室内での消毒以外には使用しないこと。
[オゾンガス吸入による傷害が発生する恐れがあります]
2. 装置を運転する前にオゾンが室外に漏れないように、目張りなどを行うこと。
[オゾンガス吸入による傷害が発生する恐れがあります]
3. 運転を開始後30秒以内に室外に出て、装置が停止するまで室内に入らないこと。
[オゾンガス吸入による傷害が発生する恐れがあります]
4. 可燃性ガス環境で使用しないこと。
[爆発または火災を引き起こす恐れがあります]

【形状・構造及び原理等】

＜装置外観＞



表示部



リモコン

質量: 約16kg

＜電気的定格＞

定格電圧 AC100V

周波数 50/60Hz

電源入力 89VA

電撃に対する保護の形式 クラス I 機器

＜作動/動作原理＞

※ 装置内のオゾンランプが点灯することによりオゾンガスを発生する。そのオゾンガスを循環用ファンにより部屋の中で拡散させ、設備表面に存在する微生物に対しオゾンガスの酸化・還元作用により不活性化する。

そして余剰なオゾンガスは、循環用ファンにより装置内に取り込む。取り込まれたオゾンガスはオゾンガス分解触媒フィルタを通過することによりオゾンガスが分解される。

＜電磁両立性＞

本製品はEMC規格JIS C 1806-1:2010に適合している。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【使用目的又は効果】

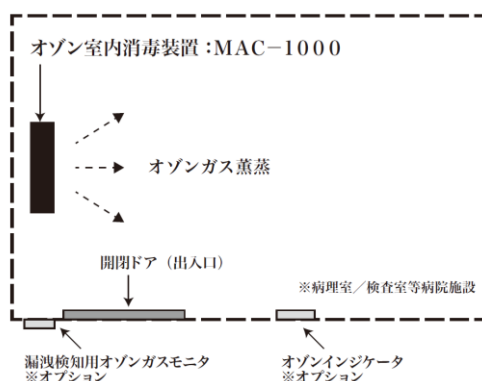
** 微生物を不活化する消毒器としてオゾンガスを使用して医療施設等を消毒する。

【使用方法等】

次の手順にて使用願います。

1. 準備

- ① オゾンガス消毒器を起動する。
ご使用の前に正常動作するかを確認してください。
- ② オゾンガスが消毒対象の部屋から漏出を防ぐため消毒器を使用する際は、必ず出入口に目張り等の処置をして下さい。
尚、オゾンガスモニタを出入口に設置する事を推奨します。
- ③ 設置例



2. 使用開始

- ① 電源を入力する。
電源が“切”の状態の時、表示部は全て消灯されています。
- ② 運転操作
1) オゾンガス消毒器の運転を開始する
運転ボタンもしくは、リモコンの運転ボタンを押すことにより運転を開始します。
この時点では送風機能のみが動作するためオゾンガス消毒機能はまだ行われていません。
- 2) オゾンガス消毒開始
運転開始状態で運転ボタンをさらに1回もしくは、リモコンの消毒ボタン押し、更に消毒時間を設定する事によりオゾンガス消毒が開始されます。消毒中は「消毒ランプ」が点灯します。この場合速やかに消毒対象の部屋より退出し、確実にオゾンガスが漏れないよう出入口のドアや窓等外部への流出を防ぐために確実に閉めること。オゾンガス消毒は全て自動で行われ「オゾンガス消毒」時間は連続で6時間から12時間、「オゾンガス分解」時間は連続で3時間の計9時間から15時間を1サイクルで実行します。オゾンガス分解中および分解終了時には、「分解ランプ」が点灯します。

尚 オゾンガス消毒・分解処理時間は次の「表1 運転モード」を参照願います。

表1 運転モード

部屋の大きさ	消毒時間	分解時間	総合処理時間
容積10～30m ³	6時間	3時間	9時間
容積30～45m ³	9時間	3時間	12時間
容積45～60m ³	12時間	3時間	15時間

* 容積60m³以上の部屋には、装置が2台以上必要です。

消毒する部屋の容積が60m³以上の場合、基本的に台数と部屋の容積との関係は、オゾン濃度2ppmもしくは、300ppm・minを下回る可能性がある場合は台数を増やして対応する。オゾン濃度については、測定し、下回った場合は、再度消毒すること。

3) オゾンガス消毒終了

オゾンガス消毒終了は、自動で行われその後は空気清浄モードになり送風状態となります。

(注意)

- (i) 強制的に終了するには、「運転ボタン」もしくは、リモコンにて運転ボタンを再度押すことにより全ての動作を停止します。
- (ii) 但し、消毒運転中、もしくはオゾンガス分解中に入室し装置を停止することは非常に危険なため、やむを得ない事情以外は絶対に行わないで下さい。
- (iii) オゾンガス消毒時に入室する際は、必ず部屋の換気及びオゾンガス防護のため活性炭マスクを用意して作業を行うこと。部屋に残留するオゾンガスは、装置を停止若しくは、分解モードに変更して下さい。停止の場合は自然分解において3時間から4時間で分解され入室が可能となります。
- (iv) 万が一オゾンガスの漏洩が検知された場合、速やかに(iii)項を参考に装置の消毒モードを停止させ、オゾン分解モードに変更しオゾン分解を実施して下さい。また、漏洩原因が特定できるまで再使用しないで下さい。

3. 使用後

運転ボタンまたはリモコン運転ボタンを押して停止する。

停止後は、電源コンセントから電源プラグを取り外し所定の場所に保管してください。

【使用上の注意】

- ① 装置附属の取扱説明書を読み、よく理解してから使用すること。
- ② 可燃性ガスや有機溶剤の有る場所で運転しないこと。
- ③ 電源投入後、リモコン操作の確認とすること。操作できない場合は電池を交換すること。
- ④ 濡れた手で操作しないこと。
- ⑤ 装置に水をかけないこと。
- ⑥ 保守、点検時には必ず電源スイッチを切って電源プラグを抜くこと。
- ⑦ 運転中は、空気の吸入口、吐出口をふさがないこと。
- ⑧ 消毒処理中の部屋には施錠、注意表示を行うこと。
- ⑨ 装置を持ち上げる時は2人以上で行うこと。
- ⑩ 容積10m³より狭い部屋で使用しないこと。
- ⑪ 湿気の多い場所や屋外で使用・保管しないこと。

取扱説明書を必ずご参照ください。

⑫電源の電圧、周波数および許容電流値に注意すること。

⑬アースを正しく接続すること。

⑭使用する時は空調を全て使用しないこと

⑮オゾンガスによる劣化のおそれがあるもの(天然ゴム及びそれに類するもの)及び重要な電子機器類は、室外に出すか接触しないようビニールで覆うなどの処置をすること。オゾンガスの耐食性が認められている主な物として、未処理のアルミニウム、ウレタン、ナイロン、クロロブレンゴム、ニトリルゴム、ポリウレタンフォームがある。

⑯誤って入室し、オゾンガスを吸引した場合は、速やかに医師の診断を受けること

⑰動物、植物は、装置を作動する前に室外に出すこと。

⑱電源の周波数と電圧および消費電力に注意すること

⑲空調などがある場合は全て停止し、共用換気扇は漏れないよう処置をすること。

【保管方法及び有効期間等】

本装置の使用耐用期間は、正規の定期点検を行った場合に限り6年間です。

【取扱い上の注意】

①直射日光の当たる場所や高温、高湿、ホコリの多い場所に保管しないでください。故障の原因となります。

②長時間使用しない場合はリモコンの乾電池を外してください。乾電池からの液漏れにより、故障の原因となります。

③本体に無理な力を加えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。

④本体をシンナーやベンジンなどで絶対に拭かないでください。本体の材質を傷めるおそれがあります。

⑤本体がひどく汚れた場合は、柔らかい布でから拭きするか、水を含ませよく絞ってから拭いてください。

⑥傾斜、振動、衝撃(運搬時含む)など安定状態に注意すること。

⑦化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

⑧故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行い、修理はメーカー若しくは販売店に連絡すること。

⑨機器は改造しないこと。

【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

指定された日常点検を実施して下さい。尚、日常点検の詳細は取扱説明書を参照願います。

＜業者による保守点検事項＞

定期点検及び定期交換を実施する場合は専門技術が必要な為、当社及び販売代理店までご連絡ください。

＜定期交換部品＞

①交換目安5年の品目

制御用電源、安定器(オゾンランプ用電源)、制御基板、サージアブソーバ、循環用ファン

②交換目安1年または1000時間のいずれか早い方で交換する品目

オゾン分解フィルタ、HEPAフィルタ、オゾンランプ、プレフィルタ

＜消耗部品＞

①リモコン用電池:リチウム電池(CR2025)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者名 : 教文館管財株式会社

電話番号 : 03-3561-8515

FAX番号 : 03-3535-3766

総販売元 : 荏原実業株式会社

* 電話番号 : 044-981-0560

* FAX番号 : 044-981-0561

取扱説明書を必ずご参照ください。